※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　学　看護総合科

教科	学　看護総合	科目	(学)生命科学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	生物　（数研出版）						
副教材等	リード Light ノート　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地球上で営まれる生命活動はすべてにおいて神秘的である。解明されていないものはまだまだたくさんある。一方で現在わかっていることについては、先人の研究で得られた知識を取り込み、実験・観察などによりその内容をしっかり理解するのはもちろんのこと、更に新しい疑問を持ち探究する意欲を高めていってほしい。ヒトはあくまで自然界の一員であるので、探究意欲を持ちながらも、活動するときには自然と調和していく姿勢は決して忘れることのないようにしてもらいたい。

2　学習の到達目標

a:生命現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、観察・実験を通して科学的に探究する知識や技能を身につける。
b:生命現象に対して疑問を見いだし、探究し考察する力を身につけると同時に、自らでそれらの結果を表現する。
c:生命現象に関心をもち、意欲的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物学的な用語やその意味、さまざまな現象について理解し実験(実習)において、器具の取り扱い方や要領を工夫している。	現象の理由を予測することや実験（実習）結果等から論理的かつ発展的に考えることができる。	自身も生物であるということから生物に対しての関心を持ち、主体的に学習活動に取り組んでいる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	細胞と分子	生物に見られる細胞構造とそれらに関わるタンパク質の働きについて学習する。	a: 生命活動を支える物質や構造物の名称や役割に関する知識を身につけ、細胞の構造物や組織の観察により、観察の技能を習得する。 b: 細胞の活動という視点から、生体膜やタンパク質の構造の必要性の考察ができている。 c: 細胞の成分や研究方法、細胞の構造に関心を持ち、主体的に授業に参加する。	・小テスト ・定期テスト	・小テスト ・定期テスト	・振り返りシート ・探究課題
2学期	代謝	生物に見られる代謝の種類や役割について様々な化学反応を通して学習する。	a: 生命活動に必要なエネルギー代謝について理解し、知識を身につけている。生体内の代謝に関する実験等を通じ、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 b: 生命活動に必要なエネルギー代謝とその仕組みを考察し、導き出した考えを表現している。 c: 生体内でのいろいろな化学反応に関心をもち、主体的に授業に参加する。	・小テスト ・定期テスト	・小テスト ・定期テスト	・振り返りシート ・探究課題
3学期	生命情報の発現	DNA の構造や遺伝子の役割を基盤とし、遺伝子組み換えなどのバイオテクノロジーについて学習する。	a: ＤＮＡの情報をもとに、体ができて行くまでの過程や遺伝子組み換えなどの技術が今後どのように発展していく可能性があるのかを理解し、知識を身につけている。ＤＮＡに関する探究活動を行い、生物学的に探究する方法を習得するともに、それらの過程や結果を的確に、記録、整理している。 b: ＤＮＡの遺伝情報をもとに、どのように発現していくのかを考察し、導き出した考えを表現している。 c: 遺伝現象と情報ともに関心を持ち、主体的に授業に参加する。	・小テスト ・定期テスト	・小テスト ・定期テスト	・振り返りシート ・探究課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度